



2018年2月9日

各 位

会 社 名 ソレイジア・ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒井好裕  
(コード番号：4597 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 管理本部長 宮下敏雄  
電 話 03-5843-8049

### 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

2017年12月期の個別業績に前期実績値との差異が生じたため、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 2017年12月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	501	△990	△1,056	△1,058	△31.46
当 期 実 績 (B)	410	△1,521	△1,564	△1,565	△19.03
増減額 (B) - (A)	△90	△530	△507	△507	—
増 減 率	△18.0%	53.5%	48.0%	48.0%	—

#### 2. 差異が生じた理由

##### ① 売上高

前年度売上高は、主に開発品 SP-02 日本権利のマイルストーン収入、開発品 SP-03 日本権利の契約金収入により構成されております。当年度売上高は、主に SP-03 の日本権利のマイルストーン収入により構成されております。これら収益額は導出契約によって規定されており、また年度毎にマイルストーン収入の契機となる開発品進捗は異なることから、前年度との差異が発生いたしました。

##### ② 営業損益、経常損益、当期純損益

上記売上高による要因のほか、以下、研究開発費及び販売費一般管理費発生を要因として、各損益において前年度との差異が発生いたしました。

研究開発費：SP-02 の国際共同第Ⅱ相臨床試験は、前年度の期中に開始し、当年度も年間を通じて実施されております。前年度において当該試験は日本のみで実施いたしましたが、当年度は日本に加え、韓国、台湾、香港にても試験を実施いたしました。また当年度は SP-04 を新規に導入し、これの開発を開始しております。これらを主要因として、当年度の研究開発費発生額は 1,070 百万円となり、前年度実績 842 百万円を超過することとなりました。

販売費及び一般管理費：中国での自販体制（マーケティング組織）、株式上場に資する社内管理体制につき、これらの整備にかかる投資額は前年度を超過しており、これを主要因として販売費及び一般管理費発生額は 862 百万円となり前年度実績 650 百万円を超過することとなりました。

以 上